



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第104号

平成29(2017)年11月15日

電話:77-2030

Fax:77-6733

いしべっ子の生活や学力の状況について(特集号)

先月号で少しだけお知らせしました子どもたちの生活や学力の状況について、今年4月に6年生が行いました、全国学力学習調査の結果から見えてきたことを詳しくお知らせします。

特に顕著な事柄については、グラフを添付し、説明します。

1. 子どもたちの生活習慣について

(1) 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

就寝時刻は日によって変わっている子が多く、他のアンケートからも夜遅くまで起きている子がいます。「どちらかといえば、している」子の数を入れれば、ほぼ全国平均です。起きる時間については、学校があるのでほぼ決まっています。その分、あくびをしたり、眠そうにしたりしている子がいます。

(2) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

全員が、やり遂げてうれしかった経験を持っています。これが自尊心や自己有用感（自分が必要とされている）に繋がります。

(3) 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止め、自分の考えを持つことができていますか

話し合ったり、発表をしたりすることに抵抗は無くなってきました。話を最後まで聞くこともできるようになってきましたが、友だちの考えを受け止め、自分の考えを持つことは、まだまだできていません。話し合いの方法や経験を増やす必要があります。

(4)授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか

応用力や生かす経験が少ないと考えられます。もっと積極的に活用する必要があります。

(5)普段どれくらいテレビを見たり、ゲームやスマホ、インターネットをしたりしていますか

テレビを**3時間以上**見る子は、全国平均に比べて**少ない**ですが、**1時間以上**見る子は全国と**ほぼ同じ**です。見ていない子はいません。ゲームを長時間する子は少ないですが、1時間以上する子は全国平均と**ほぼ同じ**です。**スマホ**についても長時間する子は少ないですが、持っている子は**全国平均より多い**です。

(6)学校以外に平日や土日にどれくらい勉強をしていますか。

普段、宿題等で勉強している時間は**全国平均と同じ**で、更に1時間以上はしています。土日は、全国平均より少なくなりますが、1時間弱はほとんどの子がしています。塾に行く子は**約30%**です。

(7)家で、学校の授業の復習をしていますか

全国平均に比べて**3倍近く**の子が必ず**復習**をしていて、**80%以上**の子が**ほぼ**しています。これは大変素晴らしいことです。どの学年もこれを続け、学習時間をしっかり確保できるようにしていきたいと思います。

(8)地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

70%以上の子が、どちらかといえば関心を持っていますが、新聞を**読まない**子は**約60%**、ニュースを見ない子も**約25%**います。最近、新聞を購読しておられない家庭も多いですが、読む力をつけるためには、有効な方法だと考えられます。

(9)地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

参加した子は約30%で、半分以上の子はどんな活動がボランティア活動か分かっていないと思います。学校や家庭、地域でボランティア活動に参加し、その意義を教えていく必要があります。

(10)外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしてみたいと思いますか

グラフのように、石部の子は45%とかなり低くなっています。これからの社会に生きるためには、進んで海外へ飛び出したり、外国の人とも積極的に関わったりしなければなりません。外国語活動にも積極的に取り組む必要があります。

2. 授業に関すること

(11)5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか

(12)5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

(13)5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか

5年生までに学んできた授業で**湖南市スタイル(石部スタイル)**の取り組みがよく見える結果になりました。授業改善取組の成果が出てきています。また、「石部学遠足」等の地域学習の成果も表れていると思います。

(14)400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

75%以上の子が作文は**難しい**と答えています。全国平均では60%以下なので大きな差があります。作文指導の取組が必要です。また、国語や算数の授業は全国平均に比べ、分かりにくいとされていて、嫌いな子がたくさんいます。(他の教科は設問がないので比べられません)しかし、多くの子は、この勉強が将来役に立つことだと思っていますので、今後も楽しく学習できるように授業改善を進めていきます。

3. 学力調査の結果より

今年度6年生の結果であり、全校児童の学力の状況を表すものではありません。また、5年間の経年変化をみても、違う問題で違う児童が受けているので、あまり意味がありません。そのことを踏まえてお知らせします。

国語・算数ともに正答率が高くなり、算数は県平均を上回り、全国平均とほぼ同じです。国語はA問題(基礎)で県平均を下回ったものの、B問題(応用)では県平均を上回り、全国平均とほぼ同じ結果でした。以下に間違いが多い問題の趣旨を示します。

【国語】

- ・同音異義語の漢字を正しく覚えられていない。(対象)
- ・手紙の書き方(様式)が分からない。
- ・目的や意図に応じて適切な文章を書く。
- ・発言の意図を捉え、理由を明確にして意見をまとめる。

【算数】

- ・加法や乗法の混合した計算ができる。 $(6 + 0.5 \times 2 =)$
- ・正五角形は、5つの合同な二等辺三角形からできていることを理解している。
- ・資料から2次元の表を作ることができる。
- ・2つの数量の関係を一般化して捉え、きまりを記述することができる。
- ・直線の数とその間の数の関係に着目して、問題に適用することができる。
- ・仮の平均を解釈して、示された数値を基準とした平均の求め方を書くことができる。
- ・示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表す図を見つける。

国語では、読むことは比較的良くできるが、上記の通り、基礎的な学習の内容でも忘れていたり、適切な書き方を求められていたり、自分の考えをまとめて書いたりするのが苦手である。

算数では、単純な計算はできるが、混合した計算や図形問題、2つの項目が合わさった表などやきまりを見つけることが苦手である。また、見つけたきまりを問題に当てはめて答えることが難しい。このようにこれからは、一つの事柄ではなく、複数の事柄を結びつけて答えを求めていく力をつけていかなければならない。

4. まとめ

いしべっ子は、学校、家庭、地域が一体となって育てています。まだまだ、課題もみられますが、どんどん良くなってきています。今後ともどうぞよろしくお願いします。